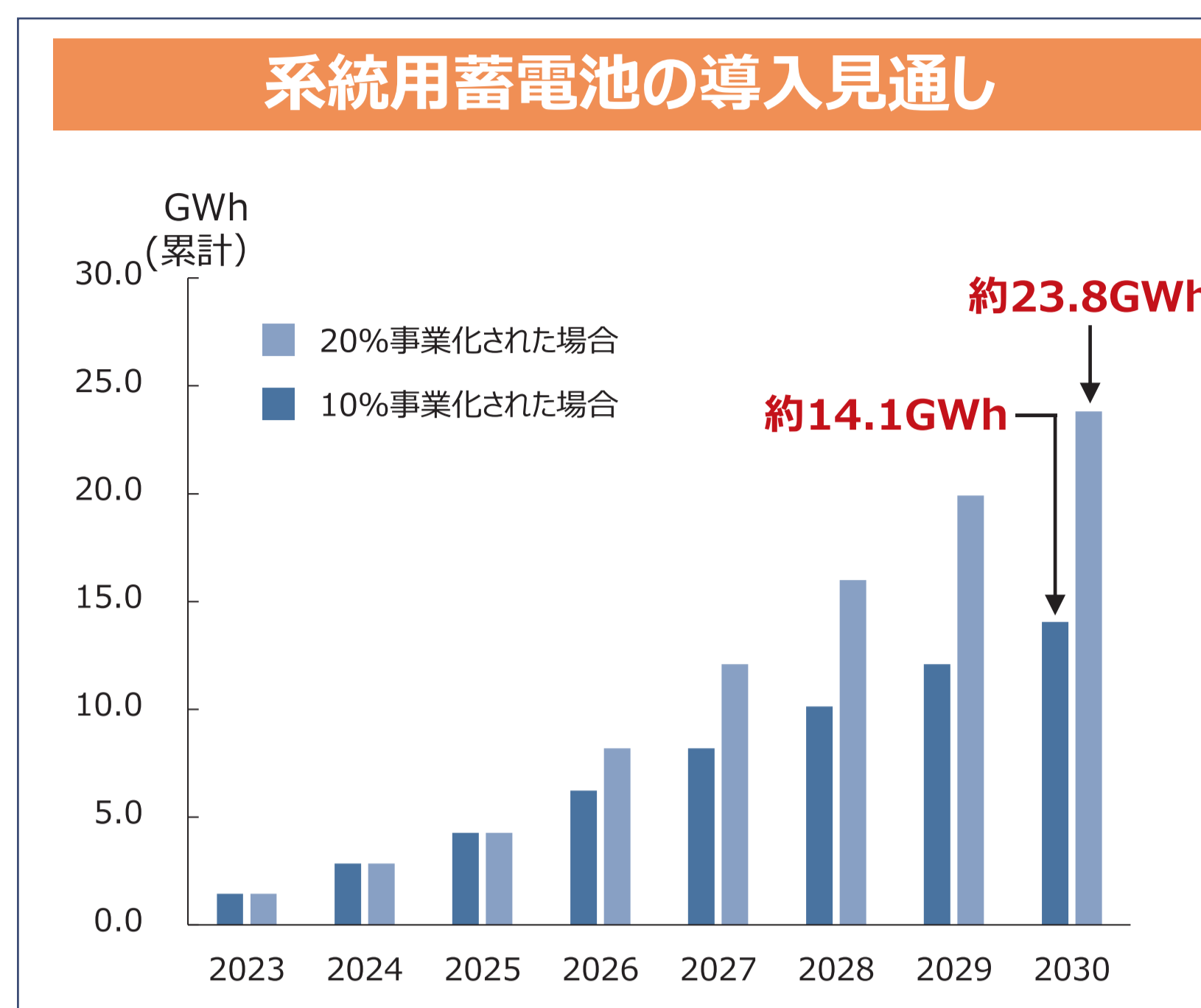


急増する蓄電所開発、2030年に累計14.1~23.8GWhの導入見通し

再エネの拡大により昼の卸市場価格が下落し、すべての電源において発電事業者の収益が不透明になってしまいました。

このような状況を受けて、発電設備の維持や新たな投資を促進するために、2020年に容量市場が創設されました。さらに、不安定になった需給バランスを整えるために2021年に受給調整市場が創設され、蓄電池の需要が拡大しています。

国としても、2030年に累計14.1~23.8GWh程度の導入を見込んでいます。



※第3回GX実現に向けた専門家WG配布資料 内閣官房(2023年11月8日)より抜粋。

蓄電所の開発も、エクソルならワンストップ提案を実現

蓄電池、パワーコンディショナ、エネルギー管理システムなど蓄電所の開発に必要な各種機器の選定はもちろん、土地情報の提供や各種申請のサポートからアグリゲーターのご紹介まで、エクソルならワンストップでご提案できます。

ご提案に応じて、お客様の要望に合わせたカスタマイズにも対応できます。



蓄電池使用例
HUAWEI「LUNA2000-2.0MWH-2H1」

定格電圧：1,250 V	寸法 (W×D×H)：6,058×2,438×2,896mm
最大電圧：1,500 V	質量：< 30T
定格容量：2,032 kWh	